

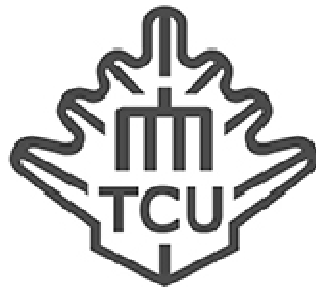
東京都市大学 柏門技術士会

第23期通常総会

2026年度

(2026年4月～2027年3月)

議 案 書



2026年6月20日 (土)

東京都市大学 柏門技術士会

東京都世田谷区玉堤 1-28-1

東京都市大学 都市工学科事務室

TEL:03-5707-0104 (内 3200)

<http://www.tokyotosi-hakumon.org/>



## 次 第

I 第23期通常総会	司会 三浦総務委員長
1. 会長 挨拶	安部会長
2. 議事	
第1号議案 第22期 活動報告	安部会長
第2号議案 第22期 収支報告 1) 第22期 収支決算報告 2) 第22期 監査報告	永田事務局長
第3号議案 理事・監事の選出	三浦総務委員長
第4号議案 第23期 活動計画	各委員長
第5号議案 第23期 収支予算	永田事務局長
3. 報告事項 1 2026年度顧問委嘱 2 体制表 3 会員の動向 4 会員の個人情報のセキュリティー向上と会運営の効率化	三浦総務委員長
4. 別資料：第21期 決算報告 1) 第21期 収支決算報告 2) 第21期 監査報告	永田事務局長
5. 閉会挨拶	山浦副会長

## 第1号議案 活動報告\_理事会活動報告および各委員会活動報告

### 1. 理事会（運営委員会）開催日時

第66回理事会（231回）	2025年	4月19日（土）	①
第67回理事会（232回）	2025年	5月17日（土）	①
第68回理事会（233回）	2025年	6月21日（土）	②+①
第69回理事会（234回）	2025年	7月19日（金）	①
第70回理事会（235回）	2025年	9月20日（金）	①
第71回理事会（236回）	2025年	10月18日（土）	③
第72回理事会（237回）	2025年	11月15日（土）	①
第73回理事会（238回）	2025年	12月20日（土）	④+①
第74回理事会（239回）	2026年	1月17日（土）	①
第75回理事会（240回）	2026年	2月21日（土）	①
第76回理事会（241回）	2026年	3月21日（土）	①

### 2. 場 所

- ①Web 会議
- ②東京都市大学 世田谷キャンパス 71A
- ③東京都市大学 4号館2階 建築都市学群多用室
- ④交友会館自由が丘クラブ

### 3. 全体議事

#### 3. 1 第22期通常総会に関して

- 1) 総会における議案説明次第の決定
- 2) 第21期活動報告および第22期活動計画に関する各委員会からの資料の検討
- 3) 第22期通常総会次第の審議

#### 3. 2 総会議案書作成について

- 1) 総務委員会より、第22期総会の全体プログラム、議案書の表紙および次第、顧問名簿の変更
- 2) 顧問名簿については、東京都市大学学生支援部菊地課長に確認をいただき修正
- 3) 議案書の活動報告は主要な議事をまとめた内容にした

#### 3. 3 新入会員へ委員会活動参加の勧め

- 1) 委員からの推薦のほか、総会や見学会に参加した会員の方に委員会活動の参加を推薦
- 2) 特に若い会員の方に委員会に参加していただくよう参加依頼

#### 3. 4 その他全体情報

- 1) 校友会に、「在校生への支援」として技術士第一次試験合格者へ受験料を助成することを確認  
令和7年度は、校友会より支給された助成金を申請のあった合格者17名に支給実施
- 2) 令和7年度合格者には、合格祝賀会の開催を企画するとともに、令和8年6月20日に開催  
予定の総会特別講演及び懇親会に招待することとした
- 3) 行事や会議等の開催は、対面の機会を増やしつつ、web併用のハイブリッド開催とした

### 3. 5 その他

- 1) 都市大卒業生(武蔵工大含む)の技術士取得者を日本技術士会の協力を得て入手、新規会員増の対応を進めている
- 2) 柏門技術士会会員の名簿の取扱について、本学校友会との連携を図り情報の一元化と個人情報の保護を図る取組を進めている

## 4. 委員会活動報告

### 4. 1 総務委員会

- 1) 22 期定期総会に向けての準備・工程案作成
- 2) 22 期定期総会の運営と整理
- 3) 顧問の継続委嘱についてのお知らせおよび新任顧問への委嘱依頼、顧問への委嘱状発行
- 4) 会報誌発送ラベルの作成と印刷
- 5) 会員名簿の管理を東京都市大学校友会の名簿データベース活用により、セキュリティーおよび利便性の向上を検討、校友会名簿データベースの更新
- 6) 今後の柏門技術士会のあり方について検討を行い、今期以降の活動方針に反映

### 4. 2 広報委員会

- 1) HP の更新維持
  - ・ 柏門HP のマニュアル整備・インハウス継続運営・リニューアル対応
  - ・ 新規情報の継続掲載
- 2) 東京都市大校友会 HP を活用した柏門技術士会の活動情報の発信
- 3) メーリングリスト配信により会員へ総会案内、新情報を提供
  - ※2026/3/2 発信のメールマガジン第 103 号以降は校友会メーリングリスト配信へ移行
- 4) 会報誌の企画・編集・作成・印刷・発行を実施

### 4. 3 教育委員会

- 1) 技術者倫理の講義担当
  - ・ 都市工学科の必修科目として実施し、5 月末で終了
  - ・ 都市工学科倫理講義の採点および取り纏めは永田委員を中心に実施
- 2) 講義はアクティブラーニングとし、講義後半はグループ単位でテーマに沿った議論と発表授業は対面型で実施
- 3) 次年度の都市工学科技術者倫理授業の準備を実施
- 4) 若手担い手不足の解消を図るための検討を実施。柏門技術士会の HP へ入会案内を掲載し、入会フォームへアクセスしやすいよう設定した。
- 5) 医用工学科 3 年生の技術者倫理講義を 4 月～6 月で実施した。

### 4. 4 企画渉外委員会

- 1) 定期総会(6 月)後に CPD 基調講演を開催
- 2) 横浜祭(9 月)、世田谷祭(11 月)にて柏門技術士会ブース出典し技術制度の PR を実施
- 3) CPD 見学会「都市大原子力研究所」(7 月)、「釜利谷庄戸トンネル」(1 月)を実施。
- 4) 柏門会のあり方の収入源確保、他大学の活動参考の 2 テーマについて調査検討を行った。

### 4. 5 試験支援委員会

- 1) 技術士試験大学別合格者数の調査

- ・ 第一次及び第二次試験の大学別合格者情報を大技連経由で試験センターから入手
  - ・ 令和6年度の都市大合格者数：第一次試験は、在学生22名全国大学(高専含む)16位(私大6位)、卒業生36名全国大学31位(私大12位)。第二次試験は、23名全国大学32位(私大7位)
  - ・ 都市大卒業生(武蔵工大含む)の技術士取得者を日本技術士会の協力を得て入手
- 2) 横浜キャンパスで特別講義(技術士補コース)を実施(全14回)
  - 3) 都市工学科キャリア開発講義にて技術士制度及び柏門技術士会、第一次試験の説明を対面にて実施(2024年6月)

#### 4. 6 事務局

- 1) 年会費納入者数の推移、運営委員会開催スケジュール他
- 2) 柏門技術士会会計管理
  - ・ 柏門技術士会の月次会計管理
  - ・ 年次予算計画及び年次収支報告の作成
- 3) 都市大メールアドレスを取得
  - ・ 各委員会の主要委員の都市大メールアドレス管理
- 4) 都市大サーバーの利用申請
  - ・ 都市大サーバーの柏門会員メーリングリスト利用
  - ・ 都市大サーバーのストレージ利用
- 5) 都市大サーバーの利用申請
- 6) WEB会議開催(ZOOMアカウント管理)
- 7) 都市大ロゴ入り柏門技術士会名刺の調整

# 第2号議案 第22期 収支報告

東京都市大学 柏門技術士会

第22期 収支決算報告書

2025(令和7)年4月1日～2026(令和8)年3月31日

## 1. 収入の部

(単位:円)

科目	第22期 予算	実績	実績-予算	備考
会費収入	430,000	376,000	△ 54,000	・予算設定:100人×4,300円(21期平均額) ⇒実績:83名×平均4,530円
行代会費	130,000	85,000	△ 45,000	・予算設定:総会会費25名×4千円=100千円 ⇒実績:総会会費21名×4千円=84千円
協賛広告費(前期精算分)	100,000	100,000	0	・21期分:2社×50千円=100千円
協賛広告費	100,000	100,000	0	・予算設定:2社×50千円 ⇒実績:2社×50千円(予算通り)
雑収入(前期精算分)	198,000	198,000	0	・21期分:18名×11千円=198千円
雑収入	330,000	187,627	△ 142,373	・予算設定:一次試験助成金30名×11千円 ⇒実績:17名×11千円=187千円+利子
収入合計	1,288,000	1,046,627	△ 241,373	
前期繰越金	715,402	715,402	0	
<b>収入総合計</b>	<b>2,003,402</b>	<b>① 1,762,029</b>	<b>△ 241,373</b>	

## 2. 支出の部

科目	第22期 予算	実績	実績-予算	備考(増減理由等)
事務用品費	23,000	0	△ 23,000	・予算設定:例年同様の予算を計上 ⇒実績:先期の繰越品活用により実績0
印刷・通信費	155,000	80,110	△ 74,890	・予算設定:会報誌送付費用を増額(70千円→110千円) ⇒実績:会報誌送付費のみ、総会案内はがきは繰越活用
印刷・通信費(21期精算)	106,860	106,860	0	・第21期の会報誌送付費用の精算分
行代会費	170,000	125,000	△ 45,000	・予算設定:例年同様の予算計上、懇親会、講演会、世田谷祭他 ⇒実績:懇親会75千円、講演会50千円
会報誌、広報	467,500	314,588	△ 152,912	・予算設定:総会議事録、印刷代、HPサーバー賃料 ⇒実績:印刷代163千円、HP改訂、サーバー賃料等152千円
委員会費	83,375	23,375	△ 60,000	・予算設定:交通費補助50千円、委員会会場費他 ⇒実績:Web会議費用:23千円
委員会費(21期精算)	23,375	23,375	0	・第21期のWeb会議費用(Zoom支払額)
渉外費他	390,550	211,766	△ 178,784	・予算設定:一次試験助成金30名×11千円、手土産等 ⇒実績:一次試験助成金17名×11千円、手土産等13千円、名刺11千円 ※2名分が期跨ぎとなったが柏門技術士会の会計処理方針に則って処理
渉外費他(21期精算)	198,000	198,000	0	・21期助成金18名×11千円=198千円
源泉徴収税	7,000	0	△ 7,000	・予算設定:例年同様の予算計上、特別講演x1、寄稿x2を想定 ⇒23期に処理を行うため実績0
支出合計	1,624,660	② 1,083,074	△ 541,586	
次期繰越金	378,742	③ 678,955	300,213	
<b>支出総合計</b>	<b>2,003,402</b>	<b>1,762,029</b>	<b>△ 241,373</b>	

## 3. ③残高(次期繰越金)

①収入の部-②支出の部	① 1,762,029	② 1,083,074	③ 678,955	2026(令和8)年3月31日現在残高
-------------	-------------	-------------	-----------	---------------------

監査の結果、上記決算内容は適正であると認めます。

令和 8(2026)年 6月 6日

監事

中澤 真



監事

石川 善信



## 第22期 当期支出内訳

科目	第22期予算			第22期支出		備考
	内訳項目	内訳品名	予算内訳	支出実績	実績-予算	
<b>事務用品費</b>		<b>小計</b>	<b>23,000</b>	<b>0</b>	<b>△ 23,000</b>	
	会報誌・総会	封筒	5,000	0	△ 8000	
	"	発送用あて先ラベル、インク等	3,000			
	事務局	封筒、事務用品他	5,000	0	△ 5,000	
	技術士試験支援	受験参考書	10,000	0	△ 10,000	
<b>印刷・通信費</b>		<b>小計</b>	<b>261,860</b>	<b>186,970</b>	<b>△ 74,890</b>	
		21期の精算分を差し引いた金額	155,000	80,110	△ 74,890	
	総会	資料印刷費(70部)	15,000	0	△ 15,000	
	"	案内往復葉書等(100枚)	15,000	0	△ 15,000	
	会報誌	送付費用(21期分)	106,860	106,860	0	・21期会報誌送付費用(326通、郵便局発送)
	"	送付費用(22期分)	110,000	73,475	△ 36,525	
	世田谷祭	資材運搬費	2,000	0	△ 2,000	
	横浜祭	資材運搬費	2,000	0	△ 2,000	
	事務局	新規入会者等郵送代	10,000	0	△ 10,000	
	技術士試験支援	資料等印刷費	1,000	0	△ 1,000	
		振込手数料	0	6,635	6,635	
<b>行展会費</b>		<b>小計</b>	<b>170,000</b>	<b>125,000</b>	<b>△ 45,000</b>	
	第22期総会	懇親会費用	105,000	75,000	△ 30,000	・懇親会25名x3千円
	"	講演謝金	50,000	50,000	0	・坂井文先生講演(講演謝費)
	"	会場設営・設備費	5,000	0	△ 5,000	
	世田谷祭	ポスター準備・会場設営他	2,000	0	△ 2,000	
	"	世田谷祭実行委員会対応	3,000	0	△ 3,000	
	横浜祭	ポスター準備・会場設営他	2,000	0	△ 2,000	
	"	横浜祭実行委員会対応	3,000	0	△ 3,000	
<b>会報誌、広報</b>		<b>小計</b>	<b>467,500</b>	<b>314,588</b>	<b>△ 152,912</b>	
	会報誌	テープ起こし費用	67,500	0	△ 67,500	
	"	会報誌印刷代(コーケン印刷様)	210,000	162,800	△ 47,200	・会報誌400部印刷代
	"	郵便局までのタクシー代(往復)	0	3,200	3,200	
	HP関係	HP用サーバーの賃借料等(GMO様)	180,000	34,188	△ 145,812	・レンタル料27千円、更新料3,300円×2
	"	HP更新作業、マニュアル等(コーケン印刷様)	180,000	114,400	114,400	・HP更新、マニュアル作成、改訂
	都市大新聞	広告等掲載料(技術士試験関連)	10,000	0	△ 10,000	
<b>委員会費</b>		<b>小計</b>	<b>106,750</b>	<b>46,750</b>	<b>△ 60,000</b>	
		21期の精算分を差し引いた金額	83,375	23,375	△ 60,000	
	交通費補助	技術士関連広報活動	50,000	0	△ 50,000	
	委員会会議	会場費(21期分)	23,375	23,375	0	・21期Web会議費用(Zoom契約料)
	"	会場費(22期分)	23,375	23,375	0	・22期Web会議費用(Zoom契約料)
	寄付講座	講師交通費(謝金)	10,000	0	△ 10,000	
<b>渉外費他</b>		<b>小計</b>	<b>588,550</b>	<b>409,766</b>	<b>△ 178,784</b>	
		21期の精算分を差し引いた金額	390,550	211,766	△ 178,784	
	他大学・技術士会等	総会・懇親会・シンポ参加費	5,000	5,160	160	・全国大会協賛金、都市大講義手土産
	学生見学会後援	講師(6名)への手土産	8,000	0	△ 8,000	
	見学会1	見学先への手土産	3,000	2,100	△ 900	
	見学会2	見学先への手土産	3,000	3,456	456	
		協賛会社への手土産	0	2,500	2,500	・TERADA様
	事務局	協賛先等へのお礼	30,000	0	△ 30,000	
	技術士第一次試験助成金	申請者への助成金支給(21期分)	198,000	198,000	0	・助成金(18名x11千円=198千円)
	"	申請者への助成金支給(22期分)	330,000	187,000	△ 143,000	・助成金(17名x11千円=187千円)
	理事名刺	理事用名刺7名分@100枚	11,550	11,550	0	・名刺7x1650円
<b>源泉徴収税</b>		<b>小計</b>	<b>7,000</b>	<b>0</b>	<b>△ 7,000</b>	
	事務局	特別講演+寄稿	7,000	0	△ 7,000	
		21期の精算分を差し引いた金額		754,839	754,839	
<b>当期支出合計</b>		<b>合計</b>	<b>1,624,660</b>	<b>1,083,074</b>	<b>△ 541,586</b>	

1,096,660

698,074 ←助成金除く

## 第3号議案 理事・監事選出

### 23期 理事・監事名簿

#### 1) 理事

理事	安部 毅 H02土木 (総合、建設、環境) 会長	山浦 武彦 S62土木 (建設) 副会長・広報副委員長	永田 嘉和 S60経営 (経営) 事務局長	三浦 聡 S59(修61)土木 (総合、建設) 総務委員長
	八木 公平 H08土木 (建設) 総務副委員長	服部 尚道 H04(修06)土木 (建設) 広報委員長	永田考 H04(修06)土木 (建設) 教育委員長	松浦 弦三郎 S51土木/ H30修都市 (建設) 教育副委員長
	北村 敏 H01電気電子 (電気電子) 企画渉外委員長	浦見 成一 H08電気電子 (電気電子) 企画渉外副委員長	(新任)永尾 浩一 H04土木 (建設) 試験支援委員長	(新任)南 達也 S62土木 (建設) 試験支援副委員長

(計12名)

#### 2) 監事

監事	中澤 眞 S47電気 (情報)	石川 善信 S56(58修)土木 (建設)		
----	--------------------	--------------------------	--	--

(計2名)

## 第4号議案 第23期 活動計画

総務委員会 活動計画		
委員会の分掌事項	会員の動向の把握および会員名簿の管理、顧問委嘱手続き、会則、細則の制定・改訂等の原案作成、総会の開催に関する一切の事項、他委員会の活動支援	
委員	委員長：三浦 聡 副委員長：八木 公平 委員：浅野 研一、荒川 興一、安藤 慎一郎、稲沢 達也、永田 嘉和、野村 光功	
第23期の活動計画		
活動項目	活動の目的・実施内容等	実施予定 (年月等)
1. 委員会の開催、情報交換	・総務委員会文章事項に関する協議及び情報交換	数回／年
2. 会則・細則の改定	・会則・細則に関する修正・提案事項の検討および改定案の作成	必要により検討実施
3. 第23期総会	・議案書の作成 ・会員への連絡 ・総会及び懇親会の運営 ・議決の確認	2026年6月
4. 顧問の委嘱手続き	・大学教員の異動に伴う、顧問の見直しおよび委嘱依頼	2026年5月
5. 会員名簿管理	・新規会員の入会、転居・転職等の会員情報の変更、退会・逝去等の情報の登録 ・会員数の把握 ・会員名簿を東京都市大学校友会の名簿データベース活用を図るため、校友会名簿データを適宜更新 ・会費納入率の向上策の立案と実施	随時
6. 他の委員会への活動支援	・柏門技術士会の今後のあり方検討 ・大学講義の実施や技術士ガイダンス ・一次試験合格祝賀会 ・大学祭ブース出展 等へ支援	随時
第24期以降の活動方針（中期的な活動方針）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏門技術士会が活動し易いように、随時会則及び細則の見直しを行っていく。</li> <li>・柏門技術士会の運営費用面での安定を図るため、収入増・支出削減策を継続的に検討する。</li> <li>・転勤や定年などにより連絡先が不明にならにように、メルマガや総会の案内などを通じて、随時会員の動向を把握する。</li> <li>・各委員会に若手の委員が参加できるよう、行事等を通じて声掛けを継続していく。若手会員の会費縮減策を検討する。</li> <li>・長期的に技術士会員数を増やすために、大学事務局や顧問の先生方との交流会を実施して、大学全体の技術士制度に対する理解を深めていく。</li> <li>・技術士制度ガイダンスの実施や学祭のブースでの説明、大学講義での技術士制度の説明の充実などを、関係する委員会等と協力して実施していく。</li> </ul>		

広報委員会 活動計画		
委員会の分掌事項	会報誌の作成・発行、ホームページの運営管理、会員への広報活動	
委員	委員長：服部尚道 副委員長：山浦武彦 委員：近藤晴雄、松本辰男、嶋矢剛、中林秀和、山川和弘、石川善信、野中敏幸、中村三昭	
第 23 期の活動計画		
活動項目	活動の目的・実施内容等	実施予定 (年月等)
1. 会報誌の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会報誌第 23 号の企画・編集・作成・印刷・発刊など</li> <li>・会報誌 23 号は 6 月の総会記事を中心に掲載し 10 月初旬に発刊（電子版）</li> </ul>	2026 年 6 月～
2. ホームページの運営管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの完全リニューアル・ホームページのインハウス運用</li> <li>・CPD 見学会報告などのニュースを掲載</li> <li>・東京都市大校友会 HP での情報発信</li> </ul>	通年
3. 会員への広報活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校友会へ移行したメーリングリスト配信により会員へ総会案内、新情報を提供</li> <li>・ホームページ会員コーナーに過去の会報誌や理事会議事録を掲載</li> </ul>	通年
4. 都市大学生への広報活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境創生学科・医用工学科の特別講義にて「技術士制度」を紹介</li> <li>・世田谷キャンパスと横浜キャンパスにおける「技術士ガイダンス」の開催案内を大学へ依頼</li> </ul>	通年
5. 30 周年史の作成に向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20 年史発行の作業内容などを精査して 30 年史へ向けてデータを引き継ぐ</li> </ul>	通年
第 24 期以降の活動予定（中期的な活動方針）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・20 年史でまとめた、年表、資料編のデータを継続的に蓄積していく。</li> <li>・ホームページ、東京都市大校友会 HP のインハウス運用を継続する。</li> <li>・柏門技術士会の運営のあり方の「電子ツールの活用」の行動について継続する。</li> </ul>		

教育委員会 活動計画		
委員会の分掌事項	特別講義（ケーススタディ）、その他の教育と指導に関する企画と運営	
委員	委員長：永田 考 副委員長：松浦 弦三郎 委員：街道 浩、北村 敏、佐藤 貢一、高橋 正、南 達也、 小原 丈二、林 克彦、山浦 武彦、山口 雄一、山本 晃弘	
第 23 期の活動計画		
活動項目	活動の目的・実施内容等	実施予定 (年月等)
1. 委員会の開催、情報交換	大学より依頼の講義の向上のため、実施後の反省、次回テーマの選定、日程調整などを行う。講義実施時は講師以外の者も出来る限り参加し討議補助をするよう調整する。	会議は年 2 回程度、その他メール等により随時調整
2. 特別講義（ケーススタディ）	今期も都市工学科より依頼の「技術者倫理」（3 年・必修）を緑土会（学科 OB 会）との「共同寄付講座」として、全講義時間の半分（今期は 100 分授業 7 回）行う。今期は対面授業での実施となる（授業の資料は WebClass にアップする。授業動画は記録しない）。従来の討議等がスムーズに実施できるように講師以外の者も出来る限り参加し補助をするよう調整する。	2026 年 4~5 月
3. 技術士・技術士補の受験支援	14 期より技術士試験支援実行委員会が本学在学生等に対して本格的な受験支援の活動を始めたことから、状況に応じて補佐的支援を行う。	随時、必要の際調整する
4. その他	現在の具体的な活動は大学からの依頼に基づいていることもあり、都市工学科中心となっているが、他学部学科に対しても、必要に応じて、今後積極的に対応していく。	随時、必要の際調整する
第 24 期以降の活動予定（中期的な活動方針）		
<p>大学における人材育成は、社会の要請に基づいた教育をより重視していく方向にある。そのような教育環境を踏まえ、大学での講義は大学から依頼があることが必須であるため、「東京都市大学アクションプラン 2030」（「時代の要請に取り組み」という記述あり）に沿った具体的な講義プランに従って、どのような支援・協力出来るのかを大学側と十分なコミュニケーションを取りながら活動していく。</p> <p>また、現在実施している講義等については、大学側の希望・時代の要請などを取り込みながら質的向上を計り、継続するべく努める。なお、学生教育については大学に加え、学科 OB 会等が活動をされている場合もあり、関係者との十分な調整の基に活動する。今後は、新たなメンバーに加わってもらい新たな発想のもとで協力し合いながら進めていく。</p>		

## 企画渉外委員会 活動計画

委員会の分掌事項	見学会、講演会、その他行事等の企画・運営並びに日本技術士会との交流と情報交換
委員	委員長：北村 敏 副委員長：浦見成一 委員：石川 善信、尾崎正明、下條信幸、藤本健、永井祐樹

### 第 23 期の活動計画

活動項目	活動の目的・実施内容等	実施予定 (年月等)
1. 委員会の開催、情報交換	会員へのサービスを反映した CPD 行事、交流会の企画検討を行う。 世田谷祭、横浜祭の展示準備及び見学会の企画検討を行う。	適宜
2. 世田谷祭・横浜祭での 本会 PR ブースの開設	横浜祭、世田谷祭にブースにて出展、WEB 開催の場合は動画を作成して参加を行う。 学生・教職員・大学事務局への“技術士制度&技術士”の啓発活動、柏門技術士会活動の PR、技術士第一次試験奨励活動を具体的にすすめる。	2026 年 横浜祭 9 月 世田谷祭 11 月
3. 見学会、講演会の開催	CPD 活動の一環及び会員への交流として見学会・講演会の開催を検討する。	2026 年 9 月、 2027 年 3 月
4. 技術士第一次試験合格者 お祝いの会	定期総会に合わせて一次試験合格者の在校生との交流を深めるとともに、将来の第二次試験に向けての情報を提供する。	2026 年 6 月頃
5.		

### 第 24 期以降の活動方針（中期的な活動方針）

会員相互の交流を深めるため、年 2 回のペースで多くの会員が参加できる CPD 見学会を企画していきます。また、大学祭では「技術士制度」および「技術士」の啓発活動を行うとともに、学生に対する技術士受験の推進広報にも積極的に取り組みます。  
他大学技術士会の活動内容も参考にしながら、会員が楽しめる企画を継続的に実施していきます。

試験支援委員会 活動計画		
委員会の分掌事項	技術士制度のガイダンス及び特別講義の実施、その他の技術士資格取得に関する企画と運営	
委員	委員長：永尾 浩一 副委員長：南 達也 委員：佐藤 貢一、永田 嘉和、小原 丈二、寺島 和秀、鈴江 優、引田 一史	
第 23 期の活動計画		
活動項目	活動の目的・実施内容等	実施予定 (年月等)
1. 横浜キャンパス 特別講義 (技術士補コース)	<ul style="list-style-type: none"> <li>横浜キャンパス全学部共通、2年生を対象に前期後半 2Q 全 14 回の講義を実施する。</li> <li>対面主体のハイブリッド授業につき、横田教授、講師間連携の下、準備を進める。</li> </ul>	2026 年 6 月～7 月
2. 受験ガイダンスの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>受験申込の時期に合わせ、学生ポータル等での受験奨励の働きかけを行う。</li> <li>大学と連携の上、全学部・全学年を対象とした受験ガイダンスの企画を進める。</li> </ul>	2026 年 6 月 適宜
3. 模擬試験の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学事務局と連携の上対面形式で実施し、在学生の受験者増と合格率増を図る。</li> <li>採点と激励コメントにより、モチベーション向上を図り、合格率増を目指す。</li> </ul>	2026 年 10 月
4. その他、試験奨励活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市工学科 3 年生のキャリア開発の講義等で、技術士試験の説明を実施する。</li> <li>校友会、大学と連携の上、第一次試験合格者への受験料助成制度を実施する。</li> </ul>	2026 年 6 月 年度末
5. 学内広報活動 (広報委員会と連携)	<ul style="list-style-type: none"> <li>受験支援制度、受験ガイダンス、模擬試験等について、学生ポータル等で広報する。</li> <li>学生の合格実績について、柏門 HP で PR するとともに大学の広報とも連携を図る。</li> </ul>	適宜
第 24 期以降の活動予定 (中期的な活動方針)		
<p>*JABBE 認定されている学生 (現在、都市工学科、機械工学科、原子力安全工学科、機械システム工学科、情報科学科) を含め、在学中の第一次試験の受験、及び資格取得拡大に向けた検討を行う。(目標：在学生 100 名合格)</p> <p>*受験ガイダンス、模擬試験の実施その他の取組を行い、受験者増と合格率向上を図る。横浜キャンパス、都市工学科で定着した取組について、全学部への拡大を図る。</p> <p>*技術士試験の出題傾向や問題の分析を行い、特別講義やガイダンス等に反映させるとともに、必要に応じ大技連での情報交換、日本技術士会への情報提供を行い、質の向上、制度の充実を図る。</p> <p>*第一次試験の対策にとどまらず、第一次試験を通過した若手の会員等を対象とした第二次試験取得のための支援活動について、柏門 HP の更新や相談の充実などに取り組む。</p>		

※ 「活動の目的・実施内容等」「第 24 期以降の活動予定」欄は箇条書きでなく、文章で記載ください。また、欄内に収まる文字数でお願いします。

# 第5号議案 第23期 収支予算

東京都市大学 柏門技術士会

## 第23期 収支予算案

2026(令和8)年4月1日～2027(令和9)年3月31日

### 1. 収入の部

(単位:円)

科目	第22期 実績	第23期 予算	増減(23-22)	備考
会費収入	376,000	453,000	77,000	・予算設定:100人×4,530円(22期平均額)
行展会費	85,000	155,000	70,000	・予算設定:総会会費25名×5千円+お祝い金30千円
協賛広告費	200,000	100,000	△ 100,000	・予算設定:2社×50千円(実績は21期精算分を含む)
雑収入	385,627	390,000	4,373	・予算設定:一次試験助成金30名×13千円(実績は21期精算分を含む)
収入合計	1,046,627	1,098,000	51,373	
前期繰越金	715,402	678,955	△ 36,447	
<b>収入総合計</b>	<b>1,762,029</b>	<b>1,776,955</b>	<b>14,926</b>	

### 2. 支出の部

科目	第22期 実績	第23期 予算	増減(23-22)	備考(増減理由等)
事務用品費	0	15,000	15,000	・予算設定:例年同様の予算計上
印刷・通信費	186,970	10,000	△ 176,970	・予算設定:会報誌が今期よりメール配信(実績は21期精算分を含む)
行展会費	125,000	161,000	36,000	・予算設定:講演会, 懇親会, 世田谷祭, 横浜祭他
会報誌、広報	314,588	60,000	△ 254,588	・予算設定:会報誌が今期より電子化、HPサーバー管理費
委員会費	46,750	80,000	33,250	・予算設定:ZOOM使用料(実績は21期精算分を含む)
渉外費他	409,766	429,000	19,234	・予算設定:一次試験助成金30名×13千円, 手土産等(実績は21期精算分を含む)
源泉徴収税	0	15,000	15,000	・予算設定:特別講演×2、寄稿×4を想定(22期を含む2期分を処理)
支出合計	1,083,074	770,000	△ 313,074	
次期繰越金	678,955	1,006,955	328,000	
<b>支出総合計</b>	<b>1,762,029</b>	<b>1,776,955</b>	<b>14,926</b>	

### 3. ③残高(次期繰越金)

①収入の部-②支出の部	① 1,776,955	② 770,000	③ 1,006,955	2026(令和9)年3月31日現在残高
-------------	-------------	-----------	-------------	---------------------

## 第23期 当期支出予算内訳(案)

科目	第23期予算			備考
	内訳項目	内訳品名	予算内訳	
<b>事務用品費</b>		<b>小計</b>	<b>15,000</b>	
	事務局	封筒、事務用品他	5,000	・例年予算同様
	技術士試験支援	受験参考書	10,000	・例年予算同様
<b>印刷・通信費</b>		<b>小計</b>	<b>10,000</b>	
	総会	資料印刷費	0	・会報誌23期よりメール配信
	〃	案内往復葉書等	10,000	・例年予算同様
	世田谷祭	資材運搬費	0	・パネルからプロジェクターへ変更
	横浜祭	資材運搬費	0	・パネルからプロジェクターへ変更
	事務局	新規入会者等郵送代	0	
	技術士試験支援	資料等印刷費	0	
<b>行年会費</b>		<b>小計</b>	<b>161,000</b>	
	第23期総会	懇親会費用	105,000	・懇親会35名x3千円見込
	〃	講演謝金	50,000	・例年予算同様
	〃	会場設営・設備費	0	・実績による
	世田谷祭	ポスター準備・会場設営他	0	・パネルからプロジェクターへ変更
	〃	世田谷祭実行委員会対応	3,000	
	横浜祭	ポスター準備・会場設営他	0	・パネルからプロジェクターへ変更
	〃	横浜祭実行委員会対応	3,000	
<b>会報誌、広報</b>		<b>小計</b>	<b>60,000</b>	
	会報誌	会報誌印刷代(モノクロ 550部)	0	・会報誌23期よりメール配信
	HP関係	HP用サーバーの賃借料, HP更新作業等	50,000	・サーバー賃料 30千円 ・更新関連の作業費 17千円
	都市大新聞	広告等掲載料(技術士試験関連)	10,000	・例年予算同様
<b>委員会費</b>		<b>小計</b>	<b>80,000</b>	
	交通費補助	技術士関連広報活動	50,000	・交通費等補助
	委員会会議	会場費(23期分)	30,000	・WEB会議(ZOOM)費用
	寄付講座	講師交通費(謝金)	0	
<b>渉外費他</b>		<b>小計</b>	<b>429,000</b>	
	他大学・技術士会等	総会・懇親会・シンポ参加費	3,000	・全国大会協賛金
	学生見学会後援	講師への手土産	3,000	
	見学会	見学先への手土産	3,000	
	事務局	協賛先等へのお礼	20,000	
	技術士第一次試験助成金	申請者への助成金支給(23期分)	390,000	・助成金(30名x13千円=390千円)
	理事名刺	理事用名刺	10,000	・22期実績11550円
<b>源泉徴収税</b>		<b>小計</b>	<b>15,000</b>	
	事務局	特別講演+寄稿	15,000	・特別講演x2,寄稿x4(2期分)
<b>当期支出合計</b>		<b>合計</b>	<b>770,000</b>	

380,000 ←助成金予算・支出を除く

## 報告事項 1 第23期 顧問委嘱

NO	名称	現 職	氏 名	NO	名称	現 職	氏 名
1	最高顧問	学長	野城 智也	18	顧 問	理工学部 機械工学科 主任教授	三原 雄司
2	最高顧問	学校法人 五島育英会 理事長	渡邊 功	19	顧 問	理工学部 機械システム工学科 主任教授	秋田 貢一
3	顧 問	NPO法人建設技術監査センター 理事 相談役	五艘 章	20	顧 問	理工学部 電気電子通信工学科 主任教授	傘 昊
4	顧 問	副学長 (教育担当)	田中 康寛	21	顧 問	理工学部 医用工学科 主任教授	京相 雅樹
4	顧 問	副学長 (ダイバーシティ・学長特命事項担当)	中村 雅子	22	顧 問	東理工学部 応用化学科 主任教授	黒岩 崇
5	顧 問	副学長 (研究担当)	末政 直晃	23	顧 問	理工学部 原子力安全工学科 主任教授	牟田 仁
6	顧 問	副学長 (国際・社会連携担当)	岩野 公司	24	顧 問	理工学部 自然科学科 主任教授	福田 達哉
7	顧 問	大学院総合理工学研究科長	野平 博司	25	顧 問	建築都市デザイン学部 建築学科 主任教授	小林 茂雄
8	顧 問	大学院環境情報学研究科長	リジナル ホム・ パハドゥル	26	顧 問	建築都市デザイン学部 都市工学科 主任教授	伊藤 和也
9	顧 問	理工学部長	野中 謙一郎	27	顧 問	情報工学部 情報科学科 主任教授	中野 秀洋
10	顧 問	建築都市デザイン学部長	小見 康夫	28	顧 問	情報工学部 知能情報工学科 主任教授	神野 健哉
11	顧 問	情報工学部長	森 博彦	29	顧 問	環境学部 環境創生学科教授	横田 樹広
12	顧 問	環境学部長	飯島 健太郎	30	顧 問	環境学部 環境経営システム学科教授	岡田 公治
13	顧 問	メディア情報学部長	岡部 大介	31	顧 問	社会メディア学科 主任教授	奥村 倫弘
14	顧 問	デザイン・データ科学部長	関 良明	32	顧 問	情報システム学科 主任教授	大谷 紀子
15	顧 問	都市生活学部長	宇都 正哲	33	顧 問	名誉教授	増田 陳紀
16	顧 問	人間科学部長	大塚 習平	34	顧 問	名誉教授	室田 昌子
17	顧 問	共通教育部長	井上 健	35	顧 問	建築都市デザイン学部 都市工学科教授	五艘 隆志

## 報告事項 2 第23期 体制表

### 1. 全体

役職名	
最高顧問	第23期総会 報告事項1 2025年度顧問委嘱参照
顧問	第23期総会 報告事項1 2025年度顧問委嘱参照
会長	安部 毅
副会長	山浦 武彦
事務局長	永田 嘉和
理事	第23期総会 第3号議案 理事参照
監事	中澤 眞 石川 善信

### 2. 体制表

#### 2026年度 体制表

委員会名	委員長	副委員長	委 員			
総 務	三浦 聡	八木 公平	浅野 研一	荒川 興一	安藤 慎一郎	稲沢 達也
			永田 嘉和	野村 光功(新任)		
広 報	服部 尚道	山浦 武彦	石川 善信	近藤 晴雄	嶋矢 剛	中林 秀和
			中村 三昭	野中 敏幸	松本 辰男	山川 和弘
教 育	永田 考	松浦弦三郎	小原 丈二	街道 浩	北村 敏	佐藤 貢一
			高橋 正	林 克彦	南 達也	山浦 武彦
			山口 雄一	山本 晃弘		
企画渉外	北村 敏	浦見 成一	石川 善信	尾崎 正明	下條 信幸	永井 佑樹
			藤本 健			
試験支援	永尾 浩一 (新任)	南 達也 (新任)	小原 丈二	佐藤 貢一	鈴江 優(新任)	寺島 和秀
			永田 嘉和	引田 一史(新任)		

### 報告事項3 会員の動向

#### 物故会員

会員名 (卒業年 学科)

#### 新入会員

会員名 (卒業年 学科)
佐藤 祐明 (S63 土木)
中村 一城 (H10 (修 H12) 電子通信)
野村 光功 (H12 土木)
小野沢 隆 (H14 土木) 土補
岡本 翔太 (H25 (修 H27) 都市工学) 土補
中村 綾乃 (R9 予定 都市工学) 修習
眞水 萌友 (R8 (修 R10 予定) 都市工学) 修習
高橋 広睦 (R9 予定 都市工学) 修習
神田聡太郎 (R9 予定 都市工学) 修習
渡邊 貴広 (R9 予定 環境衛生) 修習

#### 退会

会員名 (卒業年 学科)
横溝 文行 (S48 土木)

## 報告事項 4

# 会員の個人情報のセキュリティー向上と会運営の効率化

### 1. 会員の個人情報のセキュリティー向上

昨年の柏門技術士会の総会（6月21日開催）において、長年の課題であった会員名簿管理のセキュリティー向上策として、校友会データベースの活用およびそれに伴う会則改訂が承認された。

校友会データベースに重要度の高い個人情報の保管を依頼することで、セキュリティー向上が図れた。柏門技術士会としては、校友会データベースに無い、必要最小限の情報のみ管理することにした。

第5条 会員名簿は、本会事務局に保管する。

2 会員名簿には、「氏名、技術士部門及び科目、入会年」のみ備える。

3 総会の案内、会報誌発送、その他連絡事項において必要になる情報（住所、メールアドレス、勤務先、学科、卒年など）に関しては、セキュリティー面に配慮し、校友会のデータベースを公開非公開にかかわらず参照する。

※柏門会技術士会 細則 第5条より

### 2. 会運営の効率化

柏門技術士会の総会案内、会報誌発送、各種イベント案内などの通信手段として、校友会データベースを活用することで、メール配信や住所ラベル印刷を校友会事務局に依頼することが可能になり、作業の大幅な軽減が可能になる。加えて、会報誌を電子化することで会報誌のメール配信が可能となり、通信費が無料になる。

### 3. 校友会メアドによる会員への情報配信

今期より、柏門技術士会では、「会員の個人情報のセキュリティー向上」と「会運営の効率化」を目指して、会員への通信手段として『校友会名簿のメールアドレス（校友会メアド）を活用』することにする。

今後は「校友会メアドを活用した会運営」となるため、会員への柏門会情報の案内の際は、柏門会会員を対象とした一斉メール配信を校友会事務局に依頼するという方法とする。

#### <通信確度確認>

なお、通信手段が「校友会メアド」のみとなるため、通信確度（校友会メアド配信率）が重要となる。

そこで、「柏門会管理のメールアドレスとの対比」、「校友会メアドでのテストメール配信によるエラー確認」、「会員への校友会 PalSyne 確認・修正支援」などを実施し、通信確度の向上を計った結果、『会費納入者に対する校友会メアドの配信率 100%』を確認できたため、当面のサービス水準は、確保できたと判断した。

今後も、継続的に通信確度の確認・維持に努める。

別資料

第2号議案 第21期 収支報告

東京都市大学 柏門技術士会

第21期 収支決算報告書

2024(令和6)年4月1日~2025(令和7)年3月31日

1. 収入の部

(単位:円)

科目	第21期 予算	実績	実績-予算	備考
会費収入	529,760	389,000	△ 140,760	・予算設定:123人(20期112名の1割増目標)×4,307円(20期平均額) ⇒実績:89名×平均4,371円
行年会費	140,000	130,000	△ 10,000	・予算設定:総会会費35名×4千円=140千円 ⇒実績:総会会費25名×4千円+お祝い金30千円
協賛広告費	225,000	0	△ 225,000	・予算設定:3社×50千円+15名×5千円 ⇒実績:2社×5万円=100千円 (入金は22期)
雑収入	330,000	125	△ 329,875	・予算設定:一次試験助成金33名×11千円 ⇒実績:18名×11千円=198千円 (入金は22期)
収入合計	1,224,760	519,125	△ 705,635	
前期繰越金	1,126,691	1,126,691	0	
収入総合計	2,351,451	1,645,816	△ 705,635	

2. 支出の部

科目	第21期 予算	実績	実績-予算	備考(増減理由等)
事務用品費	23,000	550	△ 22,450	・予算設定:例年同様の予算を計上 ⇒実績:事務用品等雑費
印刷・通信費	115,000	2,460	△ 112,540	・予算設定:総会案内はがき、会報誌送付費用等を計上 ⇒実績:郵便手数料等 会報誌送付費用(107千円)は22期に精算
行年会費	170,000	155,116	△ 14,884	・予算設定:懇親会105千円、講演会50千円、世田谷祭他 ⇒実績:懇親会105千円、講演会50千円
会報誌、広報	467,500	674,801	207,301	・予算設定:総会議事録67.5千円、印刷代210千円、 HPサーバー賃料180千円 ⇒実績:印刷代212千円、HP改訂、サーバー費用等463千円
委員会費	82,110	24,134	△ 57,976	・予算設定:交通費補助50千円、委員会会場費他 ⇒実績:交通費等補助:24千円 Web会議費用23千円は22期に精算
渉外費他	394,150	67,668	△ 326,482	・予算設定:一次試験助成金30名×11千円、手土産等 ⇒実績:手土産記念品代等56千円、理事名刺11千円、他 助成金 18名×11千円=198千円 は22期に精算
源泉徴収税	7,000	5,685	△ 1,315	・予算設定:特別講演x1、寄稿x2を想定 ⇒実績:特別講演x1
支出合計	1,258,760	930,414	△ 328,346	
次期繰越金	1,092,691	715,402	△ 377,289	
支出総合計	2,351,451	1,645,816	△ 705,635	

3. ③残高(次期繰越金)

①収入の部-②支出の部	① 1,645,816	② 930,414	③ 715,402	2025(令和7)年3月31日現在残高
-------------	-------------	-----------	-----------	---------------------

監査の結果、上記決算内容は適正であると認めます。

令和 8(2026)年 6月 6日

監 事

中澤 真



監 事

石川 善信



## 第21期 当期支出内訳

科目	第21期予算			第21期支出		備考
	内訳項目	内訳品名	予算内訳	支出実績	実績-予算	
<b>事務用品費</b>		23,000	23,000	550	△ 22,450	
	会報誌・総会	封筒	5,000	0	△ 8,000	
	"	発送用あて先ラベル、インク等	3,000			
	事務局	封筒、事務用品他	5,000	550	△ 4,450	・会長印、領収書の購入
	技術士試験支援	受験参考書	10,000	0	△ 10,000	
<b>印刷・通信費</b>		115,000	115,000	2,460	△ 112,540	
	総会	資料印刷費(70部)	15,000	0	△ 15,000	
	"	案内往復葉書等(100枚)	15,000	0	△ 15,000	
	"	懇親会費用 振込手数料	0	165	165	・懇親会費の振込手数料
	柏門案内	パンフレット(550部)作成費	0	0	0	
	会報誌	送付費用	70,000	165	△ 69,835	・コーケン印刷代の振込手数料等 会報誌送付費用(107千円)は22期に精
	世田谷祭	資材運搬費	2,000	0	△ 2,000	
	横浜祭	資材運搬費	2,000	0	△ 2,000	
	事務局	新規入会者等郵送代	10,000	1,140	△ 8,860	・事務作業における郵送費
	顧問先生交流会		0	165	165	・三木学長記念品手配に関する振込手数料
	HP関係	振込手数料	0	825	825	・コーケン印刷への振込手数料(5回分)
	技術士試験支援	資料等印刷費	1,000	0	△ 1,000	
<b>行展会費</b>		170,000	170,000	155,116	△ 14,884	
	総会	懇親会費用	105,000	105,000	0	・懇親会35名x3千円
	"	講演謝金	50,000	50,116	116	・秋山先生講演(講演謝費)
	"	会場設営・設備費	5,000	0	△ 5,000	
	世田谷祭	ポスター準備・会場設営他	2,000	0	△ 2,000	
	"	世田谷祭実行委員会対応	3,000	0	△ 3,000	
	横浜祭	ポスター準備・会場設営他	2,000	0	△ 2,000	
	"	横浜祭実行委員会対応	3,000	0	△ 3,000	
<b>会報誌、広報</b>		467,500	467,500	674,801	207,301	
	会報誌	テープ起こし費用	67,500	0	△ 67,500	
	"	会報誌印刷代(モノクロ 550部)	210,000	211,750	1,750	・会報誌500部印刷代
	HP関係	HP用サーバーの賃借料、HP更新作業等	180,000	463,051	283,051	・サーバー賃料 28千円 ・更新関連の作業費 436千円
	都市大新聞	広告等掲載料(技術士試験関連)	10,000	0	△ 10,000	
<b>委員会費</b>		82,110	82,110	24,134	△ 57,976	
	交通費補助	技術士関連広報活動	50,000	24,134	△ 25,866	・交通費等補助: 24千円
	委員会会議	会場費	22,110	0	△ 22,110	・Web会議費用23千円は22期に精算
	寄付講座	講師交通費(謝金)	10,000	0	△ 10,000	
<b>渉外費他</b>		394,150	394,150	67,668	△ 330,390	
	会報誌	手土産代	0	3,908	3,908	・TERADA挨拶時手土産
	他大学・技術士会等	総会・懇親会・シンポ参加費	5,000	13,000	8,000	・全国大会協賛金、中大技術士会懇親会
	学生見学会後援	講師(6名)への手土産	8,000	0	△ 8,000	
	見学会1	見学先への手土産	3,000	0	△ 3,000	
	見学会2	見学先への手土産	3,000	0	△ 3,000	
	顧問先生交流会	意見交換会費	0	27,600	27,600	・三木学長記念品等
	事務局	協賛先等へのお礼	30,000	11,610	△ 18,390	・学長、先生への挨拶時お土産代
	技術士第一次試験助成金	申請者への助成金支給(11,000円/人)	334,950	0	△ 334,950	・助成金(18名x11千円=198千円)は22期に精算
	技術士第一次試験合格祝賀会	祝賀会費用(合格者超過分)	0	0	0	
	理事名刺	理事用名刺6名分@100枚	10,200	11,550	1,350	・名刺7x1650円
<b>源泉徴収税</b>		7,000	7,000	5,685	△ 1,315	
	事務局	特別講演+寄稿	7,000	5,685	△ 1,315	・特別講演x1(秋山先生)
<b>当期支出合計</b>		1,258,760	1,258,760	930,414	△ 332,254	△ 1,262,668

923,810

930,414 ← 助成金予算・支出を除く